※令和４年度以降入学生用

学校番号	323

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語 （ｅコース）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「論理国語」　（大修館書店）						
副教材等	定番小説選（数研出版）・TOP2500（いいずな書店）・現代文キーワード読解（Z 会）・新国語問題集アシスト（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業にしっかりと取り組む。
本文や授業の説明で出てきた「わからない言葉」等を自分で調べ、語彙力と表現力を高める。
本文の読解や授業内容から自分の考えを深める。
級友などの他者の考えに真摯に耳を傾け、そこから学ぶという姿勢を大事にする。
授業中の「記述」は各自が自分の考えた答えを決められた時間内に書き上げる。
提示されたものを機械的に書き写すのではなく理解を深めながら書く。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で、的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させる。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自己と他者 ［教材］「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読／書]：文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：学習課題に沿って、一般的な解釈と、筆者の解釈の違いを意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 音読 成果物の提出 定期考査	授業態度 学習課題集の提出
	コミュニケーションの手段 ［教材］記号的メディアと物理的メディア	a：対比関係に注目して、文章の効果的な組み立てや接続のしかたについて理解を深めている。 b[読／話]：対比の関係に注目し、内容の構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握し、自らの言葉で説明しようとしている。 c：メディアについての筆者の考えを読みとることに興味をもち、対比の関係をとらえようとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 音読 成果物の提出 定期考査	授業態度 学習課題集の提出
	メディアの変容 ［教材］ポスト真実時代のジャーナリズムの役割	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読／書]：関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 c：学習課題に沿って、実際の社会状況を意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 音読 成果物の提出 定期考査	授業態度 学習課題集の提出
2学期	言語の探究 ［教材］猫は後悔するか	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 b[読／書]：文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：学習課題に沿って、論理の展開に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	小テスト 定期考査	発問評価 音読 成果物の提出 定期考査	授業態度 学習課題集の提出
	政治と社会 ［教材］「である」ことと「する」こと	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読／話]：設定した題材に関連する複数の文章や資料をもとに、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりしている。	小テスト 定期考査	発問評価 音読 成果物の提出 定期考査	授業態度 発表・報告 学習課題集の提出

※令和４年度以降入学生用

		c:学習課題に沿って、対比的な概念や具体例の意図を押さえつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。			
3学期	存在への問い ［教材］言語と他者	a:一般的な類義関係の語による言い換え、本文での関連づけによる言い換えの関係を的確に把握する。 b[読／書]:本文で示される複数の言語の側面をとらえ、自分自身の言語に対する考えを深めている。 c:ことばと世界との関わりを引用を交え異なる側面から検討する論の展開を粘り強く追い、理解しようとしている。	小テスト	発問評価 音読 成果物の提出	授業態度 学習課題集の提出
	歴史と時間 ［教材］日本文化の三つの時間	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読／書]:文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c:学習課題に沿って、具体例と分析・考察の関係を意識しつつ、粘り強く筆者の主張を押さえようとしている。	小テスト	発問評価 音読 成果物の提出	授業態度 学習課題集の提出

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１５　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間